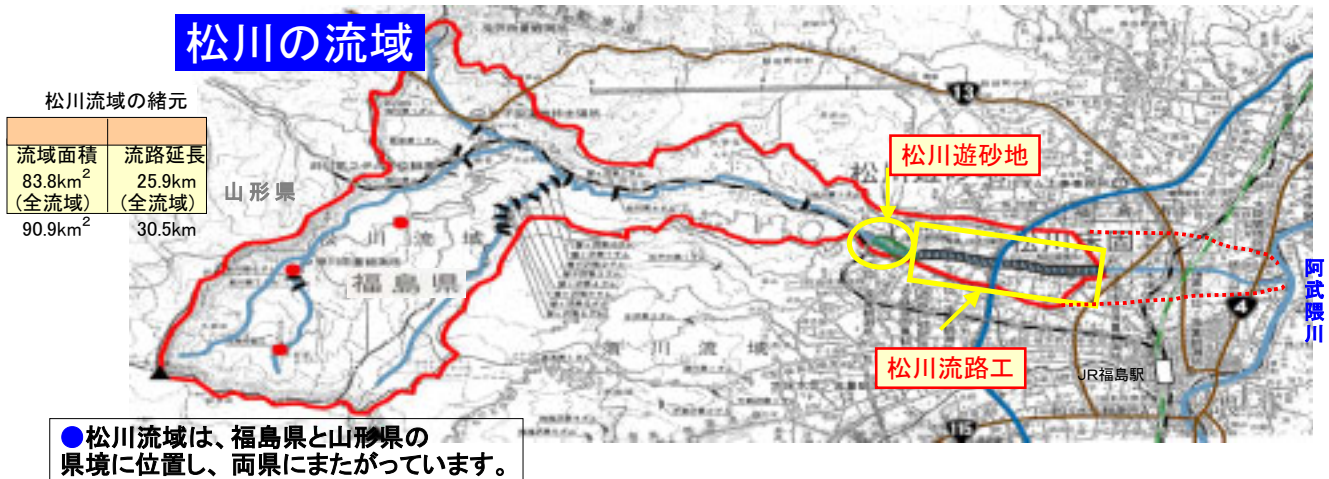


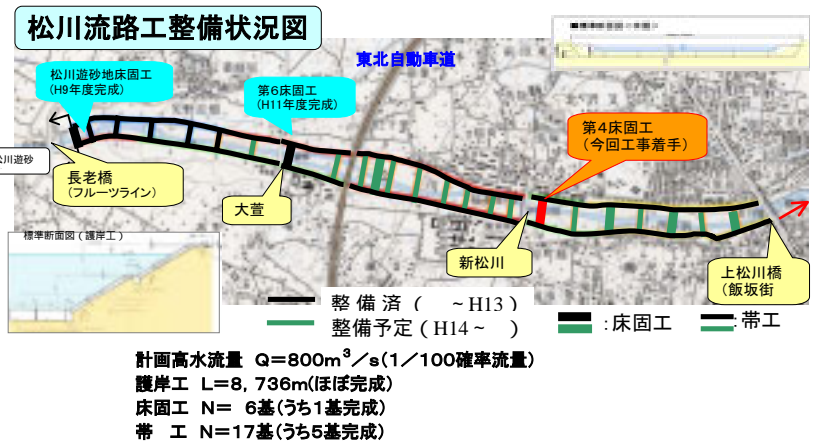


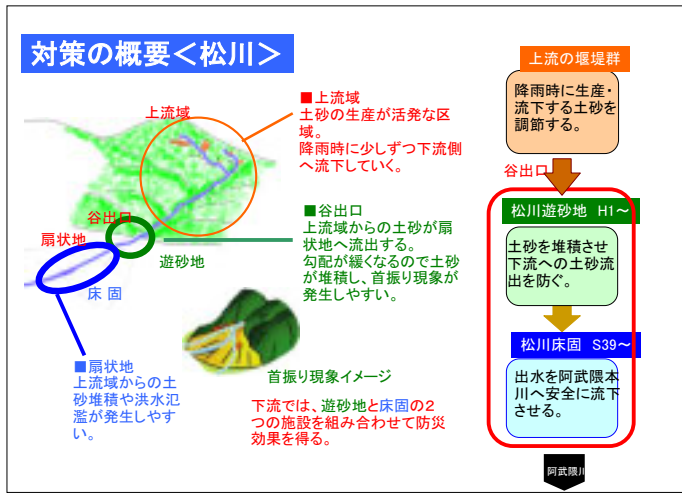
## 松川流路工特集 (第4床固工(北沢又地内の市営川前団地付近)の工事に着手)

- 松川は奥羽山脈の吾妻山に源を発し、福島市街地の北部を流れて阿武隈川に合流する延長約31kmの川です。流域内には国道、鉄道、新幹線など主要な交通網が分布しております。
- 松川流域では、土砂災害防止を目的に、国が直接砂防ダム等の建設に着手し、現在15の砂防ダム(堰堤)が完成しています。また、昭和39年からは松川流路工の整備(長老橋(フルーツライン)～上松川橋(飯坂街道)の護岸工事)に着手しました。

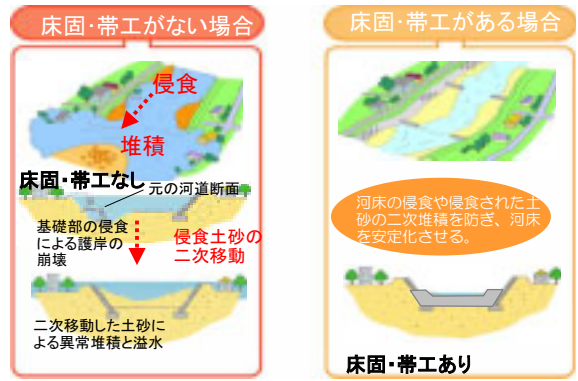


- 松川流路工は、洪水氾濫を防止する護岸の整備と流れの蛇行や局所的な洗掘や土砂異動による下流河川の上昇を防止する床固工や帯工を設置し流れを安定させるものです。(役割については、次ページを参照)
- 平成2年度から、主に長老橋～東北自動車道の床固工と帯工工事を行ってきましたが、いよいよ市街地部(新松川橋下流の北沢又地内、市営川前団地周辺)の工事に着手します。

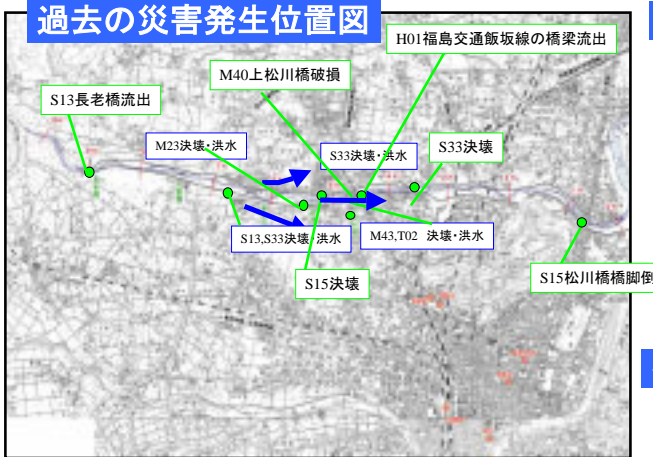




### 松川流路工（護岸+床固工・帯工）の役割

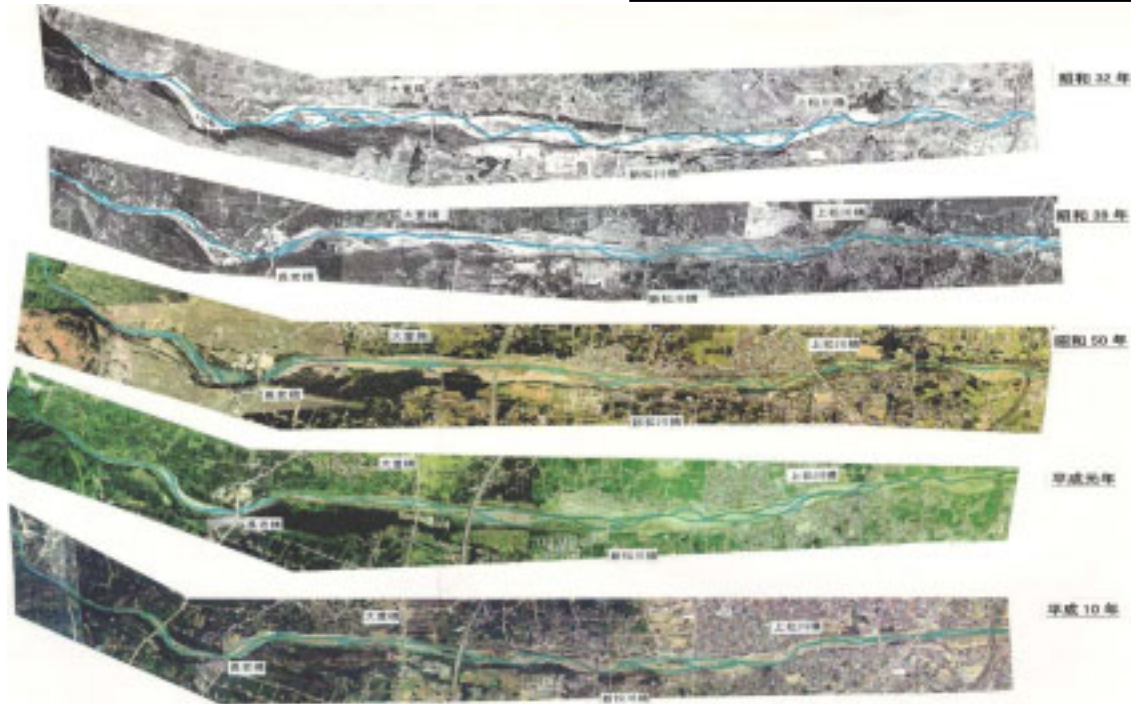


●松川流域では、土砂の堆積や二次異動・首振り現象による洪水氾濫や基礎部の侵食による被害がたびたび起こりました。



### 流路工付近空中写真(流域・流路の変遷)

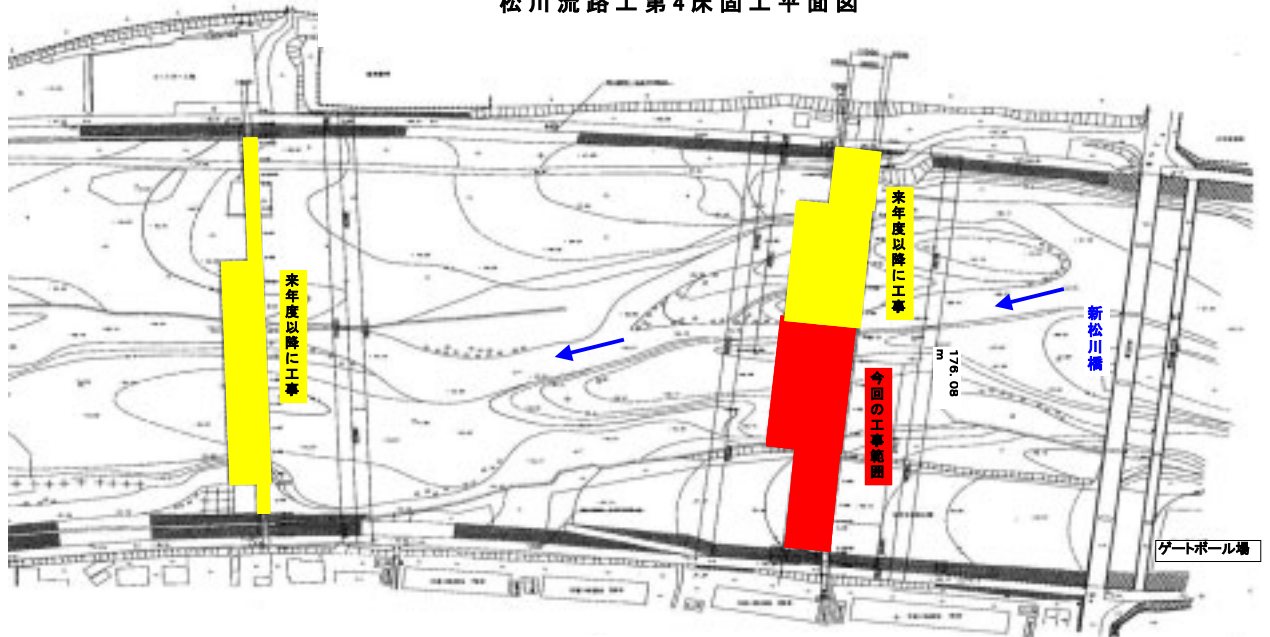
●松川流域の市街化の進行や、流路の蛇行の変化が見て取れます。



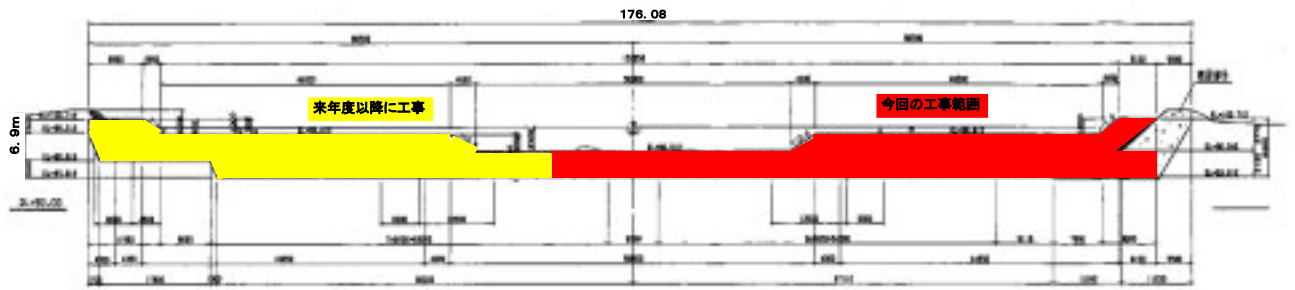
# 松川第4床固工の諸元



松川流路工第4床固工平面図



第4床固構造図



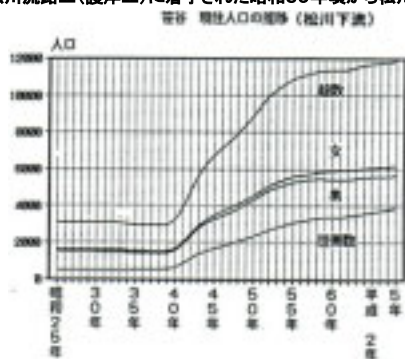
- 計画(工事)諸元
  - ・長さ L=176.8m ・高さ H=6.9m
  - ・床固工のコンクリート V=1,680m<sup>3</sup>(今回の工事V=910m<sup>3</sup>)
  - ・工事期間 平成14年12月中旬～平成15年3月28日

## 整備の進む松川流路工



## 松川周辺の人口の変化

●松川流路工(護岸工)に着手された昭和39年頃から松川流域の人口が急激に増加しました。



昭和40年代初頭の松川周辺の状況



現在の松川周辺の状況

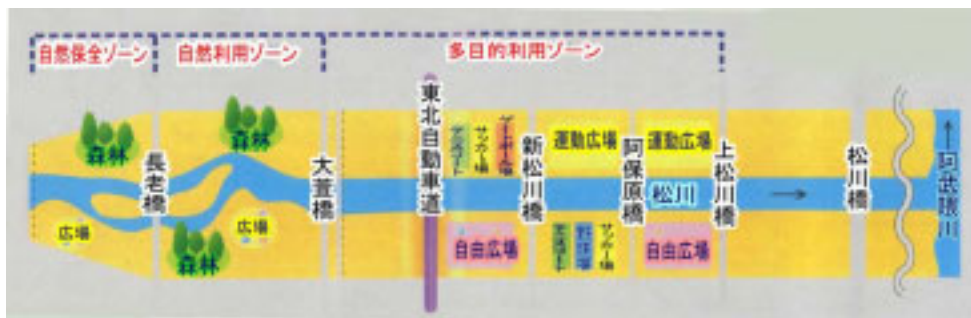
## 松川河川敷の空間利用計画(案)

松川流路工は、水害等から市民を守る目的で、現在、整備が進められていますが、それと同時に、人々の憩いの場としての役割を果たすことが求められています。

松川の水辺にある松林などの緑の景観は、地域の住民に大変親しまれており、住宅地に近いことから、散歩の利用が多いことが特徴です。

また、ゲートボール、芋煮会、ディキャンプ等の、河原や運動場を利用した溪流利用も行われています。

これらの現状を踏まえて、松川河川敷の空間利用計画(案)が立てられています。



自然保全ゾーン  
自然利用ゾーン  
多目的利用ゾーン

... 自然の改変は最小限にとどめ、自然公園ないし森林公園的な利用を図ります。  
... 既存の自然を利用し、デイライトキャンプ場、自転車道等を配置します。  
... 全体をスポーツ、イベントのためのスペースとして、整備します。



現在の松川付近の様子



松川流路工イメージ図

**よってかんしょ!** 松川砂防出張所へ

お気づきの点や知りたいことなど、お気軽にどうぞ!

発行：国土交通省 東北地方整備局 福島工事事務所 松川砂防出張所  
TEL 024-591-1207 FAX 024-591-5527  
福島工事事務所ホームページ <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>